様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 5 月 31 日

１ 事業名	予防接種事業	コード	42201

２ 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	上原　幸代

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
	政　策	保健・医療の充実	施　策	予防対策の推進
予算科目		予防事業費	業務委託	全部委託
実施義務		あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
根拠法令		予防接種法		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		各種定期予防接種（四種混合、二種混合、不活化ポリオ、麻しん風しん混合、ＢＣＧ、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、子宮頸がん、Ｂ型肝炎、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌）事業の実施。
目的	対象者	市民
	意　図	市民の感染症の発生の予防及びまん延防止を図り、健康な生活を送れるようにする。

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

予防接種法に基づく定期予防接種を次のように実施した。
〇実施状況
①四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ）　第1期
　初回3回　対象者：344人　実施者：延べ1,045人、追加　対象者：324人　実施者：328人
②二種混合（ジフテリア・破傷風）第2期
　対象者：447人　実施者：442人
③不活化ポリオ（未接種者のみ）
　初回3回　実施者：延べ4人、　追加　実施者：6人
④麻しん風しん混合　1期　対象者：338人　実施者：347人　2期　対象者：380人　実施者：350人
⑤ＢＣＧ　対象者：369人　実施者：360人
⑥日本脳炎　1期初回2回　対象者：359人　実施者：延べ763人　追加　対象者：366人　実施者：411人
　2期　対象者：1,021人　実施者：751人
⑦子宮頸がんワクチン（3回）･･･積極的勧奨差し控え中　実施者：延べ3人
⑧ヒブワクチン（4回）　対象者：335人　実施者：延べ1,346人
⑨小児用肺炎球菌ワクチン（4回）　対象者：335人　実施者：延べ1,350人
⑩水痘（2回）　対象者：337人　実施者：延べ645人
⑪Ｂ型肝炎ワクチン（3回）･･･平成28年10月1日から定期接種開始　対象者：332人　実施者：延べ554人
⑫高齢者インフルエンザ　対象者：16,643人　実施者：8,660人
⑬高齢者用肺炎球菌ワクチン　対象者：3,327人　実施者：1,397人
〇実施場所
・保健センター（各月5回　計60回）･･･①四種混合、⑤ＢＣＧ、⑥日本脳炎（第1期）、（③不活化ポリオ）
・指定医療機関（通年）･･･④麻しん風しん混合、⑥日本脳炎（特例）、⑦子宮頸がんワクチン、⑧ヒブ、⑨小児用肺炎球菌、⑩水痘、⑪Ｂ型肝炎
・市内小学校（各校2回　計14回）･･･②二種混合、⑥日本脳炎（第2期）

前年	集団接種において、予防接種担当者マニュアルの見直しを行い、看護師等のスタッフを増員、業務分担を明確にすることで、安全に予防接種事業が実施できるよう努め

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	接種者			単位	人
実績値	20,442	17,998	18,762		
＊指標の説明	接種者数は、定期接種の合計				
② 成果指標（指標名）	対象者に対する接種者の割合（接種率）			単位	%
目標値	58.3	53.1	52.0	52.0	
実績値	53.1	52.0	52.0		
達成度	91.1%	97.9%	100.0%		
＊指標の説明	高齢者インフルエンザの接種率				
＊目標値の設定方法の説明	前年度の実績値				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	107,285,117	103,334,471	105,359,862	109,060,000
経常経費	107,285,117	103,334,471	105,359,862	109,060,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		9,920,000	9,920,000	9,920,000	9,920,000
正規職員の人数（人）		1.24	1.24	1.24	1.24
③ 合計コスト（①＋②）		117,205,117	113,254,471	115,279,862	118,980,000
前年度比			96.6%	101.8%	103.2%
財源内訳	一般財源	116,631,817	113,177,971	115,253,762	118,902,000
	特定財源	573,300	76,500	26,100	78,000
＊特定財源の説明		予防接種健康被害対策事業負担金			
④ 活動一単位あたりコスト		5,734	6,293	6,144	
前年度比			109.8%	97.6%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
予防接種事故賠償補償保険掛金	件数	1	1	1	1
	金額	99,233	98,036	97,255	98,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	99,233	98,036	97,255	98,000
	割合	0.09%	0.09%	0.09%	0.09%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　妥当性　高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　有効性　高い

評価項目				はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。				1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。				1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。				1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	100.0%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	100.0%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 接種間隔誤り等接種間違いの発生防止に努める。	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 同一ワクチンの接種間隔誤りを未然に防ぐため、予診票の記入欄を改善し、更に保護者に再度確認するよう促していく。	
	改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B